

清流ニュース

発行所
八王子市子安町1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
<http://seiryuji.jpn.org/>

本年度総祈願
佛立開導日扇聖人ご生誕二百年慶讚成
教区再編成御奉公成就
役中後継者養成・法燈相続促進

平成二十九年度総祈願

六月廿四日
日序上人祥月ご命日
門祖聖人御逮夜總講に
併修

羽村別院にて

七日 御總講後
全教区合同教化道場
しょう。

| |
|----------------|
| 六月の御總講日 |
| 一日十時 開導御命日 |
| 七日十時 バースデー總講 |
| 日序上人報恩祈念 |
| 十三日十時 高祖御命日 |
| 十七日十時 開導御命日 |
| 廿五日十時 開導御命日 |
| 於清流寺 |
| 十二日十時 開導御命日 |
| 十六日十時 開導御命日 |
| 廿四日十時 開導御命日 |
| 廿六日十時 開導御命日 |
| 三十日十時 開導御命日 |
| 廿五日十時 開導御命日 |
| 於羽村別院 |
| 一日 御總講後 役中會議 |
| 廿五日 御總講後 教区長会議 |
| 廿五日 午後二時 参事会 |



開導聖人ご生誕二百年 弘通年度後期に入

慶讚ご奉公の円成をめざそう

佛立開導日扇聖人ご生誕
二百年慶讚ご奉公も、ついに
後期に入りました。

当山の慶讚ご奉公も最終年度で本
年がしめくつります。

当山の慶讚ご奉公の誓願項
目は、期限内にどうやら達成
いたしましたが、個人として
の教化誓願の未成就の方は、
なんとしても、達成をめざし

開導聖人に、お慶びいたゞけ
るよう精進がのぞまれます。

本年もあつという間に半年
が過ぎてしましました。

当宗のご信心は、人助けの

信心ですから、一にも二にも
ご弘通発展が主願でなくては
なりません。

所願不虛のご法様にお出直し
日夜ご利益を頂戴しているお

互い佛立信者ですが、やゝも
思ひが薄れがちになります。

二乗根性におちりご弘通の
思いが薄れがちになります。

教化運動も、理屈がさきに
なりますと、教化の意欲も失
われ、もちろんご弘通の成果
も上がりません。

一年に十戸以上も教化をさ

| |
|-------------------|
| 本年度の大本寺への 当番参詣 |
| 六月十日(土) |
| 一〇〇名参詣目標 |

| |
|----------------------|
| 六月朝参詣強調週間 六月二日～六日 |
| 第一連合担当 |

| |
|---|
| 予告 本年度の夏期参詣 七月九日～廿二日迄 |
| 六月二日より六日までの五 日間、月始め朝参詣です。 全教区一応一まわりして、 二巡目になります。 |

| |
|---|
| 六月二日(金)元八王子教区 三日(土)八王子東教区 四日(日)八王子西教区 五日(月)八王子南教区 六日(火)八王子北教区 |
|---|

| |
|--|
| 本年度の夏期参詣は、七月 九日(日)から廿二日迄行なわ れ、御正當会式の晴天祈願も 併修されますから、今からシッ カリ予定を組んでおいて下さ い。なお夏期供養の受け付け も例年どおりです。 |
|--|

| |
|--|
| 六月廿四日は、当山先住日序上 人の祥月ご命日です。 人の祥月ご命日です。 報恩謝徳の意味からも、一 手本として、菩薩心の涵養に よつて弘通意欲を高め、後半 の教化運動に邁進いたしま しょう。 |
|--|

| |
|--|
| 廿四日は、当山先住日序上 人の祥月ご命日です。 人の祥月ご命日です。 報恩謝徳の意味からも、一 手本として、菩薩心の涵養に よつて弘通意欲を高め、後半 の教化運動に邁進いたしま しょう。 |
|--|

| |
|--|
| 廿四日は、当山先住日序上 人の祥月ご命日です。 人の祥月ご命日です。 報恩謝徳の意味からも、一 手本として、菩薩心の涵養に よつて弘通意欲を高め、後半 の教化運動に邁進いたしま しょう。 |
|--|

同帰亭要語録

是則勇猛 是則精進

(道場神守護事 1532)

心は是れ、身の主也。同名
同生の天、是れ能く人を守護
す。心固ければ則ち強し。

身の神尚尔なり。況んや道
場の神をや。弘決第八に云く、
常に人を護ると雖も必ず心の
固きに依りて神の守り則ち

強しと。

人の身に同名・同生とい
う二天が宿つていて、其の人を
守り、又其人の心の善意を常
に能く見ているという事は華
厳經、藥師經にも出ています。

それで其の人が堅固な心で信
心も強ければ、此の二天も常
によく其人を護り、種々の障
礙をも防いでくれると考えら
れているのであります。

道場神といいうのも華嚴經そ
の他のお経にも説かれていま
すが、これは仏を奉安し、人々

摩訶止觀の注釈で妙樂大師の
書いた「摩訶止觀輔行伝弘決」
に道場神の事が説かれてあり
ます。

「道場神トイフモノハ、仏法
ヲ信ズル者ノ身ヲ護ルノデア
ルガ、其ノ道場ニ集ツタ人ノ

信心ガ堅固デアレバ、之ヲ護
す。心則チ勇猛也。是レ則
チ精進也」と説かれてあつて、
末法における法華經の修行は

必ず「心欲見仏、不自惜身命」

の一心不乱でなくしてはなりま
せん。

御教歌には

「一心にいのらば妙は顯れぬ
凡夫考へ及ばざりけり
アル。」

法華經を信じて、口唱信行
が常に強盛であるといふとき、
法華經宝塔品によ
ルト神ノ力モ弱イト云フコト

とお示し下されてあります。

一心であるから「勇猛」で、一
心であるから「精進」というこ
とになるのであります。末法
における法華經の修行とは、
勇猛精進の一語につきるわけ
で、凡夫考えのない「一心」の
御信心が大切です。